

報道機関各位

文化財課 文化財係

タイトル 地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）の受賞について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	坂越の船渡御祭保存会が、令和3年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）を受賞することに決定しました
日時	表彰式 令和3年11月1日（月）午後3時30分～
場所・住所	表彰式 京都府立府民ホール アルティ （京都市上京区烏丸通一条下る龍前町590-1）
趣旨・目的（PRしたいこと）	<p>永年にわたり、国指定重要無形民俗文化財である「坂越の船祭」の保存と継承に尽力し、地域文化の向上に貢献してきた坂越の船渡御祭保存会（会長：原 清）が、このたび令和3年度地域文化功労者表彰を受賞されることが決定しましたのでお知らせします。</p> <p>なお、表彰式は令和3年11月1日（月）に京都府立府民ホール アルティにて午後3時30分から行われます。</p>
問い合わせ先	部課係名：教育委員会 文化財課 担当者名：中田 電話：0791-43-6962 内線（ 2324 ） F A X：0791-43-6895

○添付資料（・無） ○ホームページへの掲載（有・） ○議会報告（有・）

受賞者の概要

団体名 さこしのふなとぎよさいほぞんかい 坂越の船渡御祭保存会 (会長 はら きよし 原 清)

設立年 平成5年10月1日

住 所 赤穂市坂越1299番地 大避神社社務所内

活動歴 下記のとおり

坂越の船祭は、大阪天満宮の天神祭、安芸厳島神社の管絃祭とともに瀬戸内三大船祭の一つに数えられ、祭礼用に使用される和船が、兵庫県指定有形民俗文化財に、祭礼が国指定重要無形民俗文化財に指定されている。また、坂越の船祭は、日本遺産『荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～』及び『「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂』の構成文化財になっている。

この祭礼は、江戸時代初期、大避神社の祭神である秦河勝が坂越に渡来した伝承を再現する祭りとして始まったとされ、坂越の海運業の発達とともに伝承されてきた。優雅で華やかな船団による船渡御祭は、海上にある御旅所に神輿が神幸する大規模な船祭りの典型例と考えられるものである。

船祭は、權伝馬と呼ぶ2隻の手漕ぎの船による船競漕や若者たちによるバタカケなど多彩な構成要素がみられるとともに、頭人を中心とする祭祀組織にも地域的特色が顕著であり、我が国の祭礼文化やその変遷を理解するうえで重要である。

保存会は、船祭が平成4年に文化庁の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたことを契機に、船祭の伝承とそれに必要な用具類の修理維持及び補充、調査研究等を目的に設立された。

以来、27年にわたって、神社・地域と連携して船祭の伝承に努め、坂越の伝統文化及び国指定無形民俗文化財の継承と保存に貢献してきた。

また、祭礼行事の継承だけでなく、坂越の船祭についての調査研究、記録作成、継承に必要な用具の整備を積極的に行ってきた。

受賞歴 H26.11.3 赤穂市文化振興者賞

R 2.12.10 ともしびの賞 (兵庫県知事表彰)

地域文化功労者表彰

1 趣旨

全国各地において、芸術文化の振興、文化財の保護に尽力するなど地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰する。

2 表彰の時期

毎年11月初旬（文化の日前後）に行う

3 被表彰者の範囲

- (1) 多年にわたり芸術文化の向上、普及又は文化財の保存、活用に尽力し、地域文化の振興に顕著な功績があった個人又は団体
- (2) 永年その業務に精励し又は献身的な努力を払い、地域における芸術文化の振興又は文化財の保護に貢献した個人

4 令和3年度の受賞者

総計	105件	(個人90名、団体15件)
芸術文化	58件	(個人55名、団体3件)
文化財	47件	(個人35名、団体12件)

5 兵庫県内及び赤穂市内の受賞者の状況（令和3年度受賞者含む）

兵庫県内	109件	(個人79名、団体30名)
芸術文化	54件	(個人53名、団体1件)
文化財	55件	(個人26名、団体29件)

赤穂市内	3件	(個人1件、団体2件)
------	----	-------------

平成元年	廣山堯道	(文化財調査・研究者)
------	------	-------------

平成21年	赤穂宝専寺恵比寿大黒舞保存会	(民俗文化財保存会)
-------	----------------	------------

令和3年	坂越の船渡御祭保存会	(民俗文化財保存会)
------	------------	------------